

特集

コレクション紹介：御橋コレクション

さくら 桜 サクラ

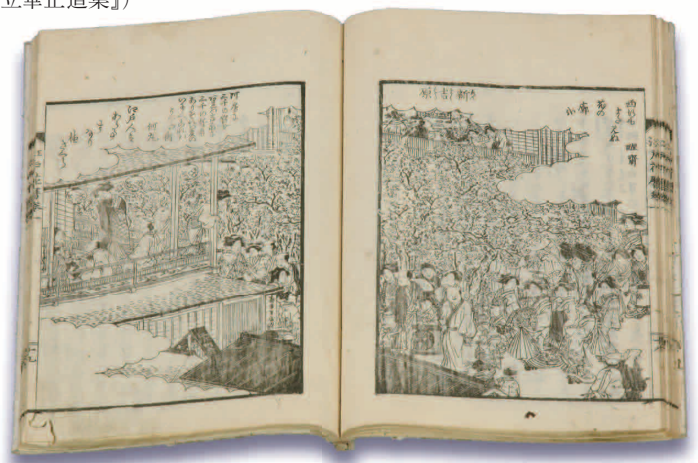
(すべて御橋コレクションより)



さくらを飾る (『立華正道集』)



二軒茶屋花見図 (八坂神社) (『都名所図会』)



新吉原 桜花 (『江戸遊覧花暦』)

CONTENTS

- 特集 「コレクション紹介：御橋コレクション」 文学部准教授 吉野 朋美
- Library Navigator 東洋経済 デジタルコンテンツ・ライブラリー
- 図書館さんぽ 第10回 印刷博物館
- 新収資料紹介 中央大学教職員著作目録・資料目録 (2011.9～2012.1 収集分)

文学部准教授 吉野 朋美

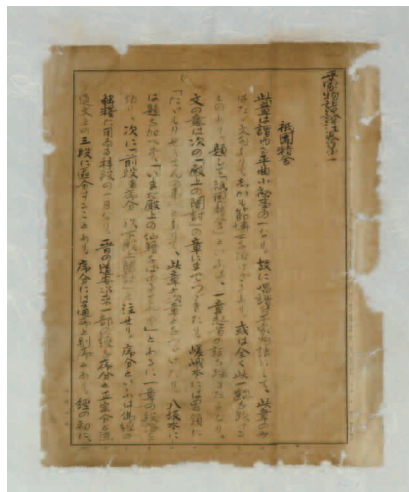
■はじめに

「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり」の冒頭で知られる『平家物語』は、清盛が築いた平家一門の栄華と没落・滅亡を仏教的無常観から描いた作品です。御橋コレクションの旧蔵者御橋恵言氏(1876～1950)(以下敬称略)は、この『平家物語』(写真下)をはじめとする中世の軍記物語などに、いま現在わたしたちが目にする諸注釈書の基礎となる詳注をつけ、すぐれた業績を残した在野の研究者です。



『平家物語』

本コレクションは、恵言が蒐集した蔵書を中心としています。恵言とその娘の没後、娘婿の忠一氏に継承され大切に保管されていましたが、平成11年(1999)5月、当時恵言の曾孫が通学していた縁で、本学に一括寄贈されました。和装本665点3748冊(うち国書288点1633冊、漢籍142点1336冊、宗教235点779冊)、御橋恵言自筆原稿5点、洋装本18点19冊からなり、特に和装本は本学に一括寄贈されたコレクションとしては最大の点数を誇るものです。このたび、同コレクション初の図書展示が開催されるにあたり、旧蔵者である恵言の生涯と業績を紹介し、あわせてコレクションの特徴について述べてみたいと思います。



『平家物語證注』(自筆草稿)

■御橋恵言の生涯と学問業績

御橋恵言は明治9年(1876)6月、山形県鶴岡町に浄土真宗大谷派柳内山広濟寺の第十八代住職、御橋諦言たいてんの二男として生まれました。数え年5歳で経文の読誦、漢籍の素読、

手習てならいを施されます。14歳の時に鶴岡の大火で生家が類焼、18歳で父が没して後は、勉学に励みつつ兄を助けて家業に専念していました。明治31年(1898)22歳の時上京、井上円了の哲学館(現東洋大学)に入学、近代哲学を専攻しました。翌年、自活の必要から杉本東洋の日本新聞に入り、『東京名物志』『明治忠孝節義伝』などの編纂に従事。以後、日本最大の百科史料事典『古事類苑』、三省堂『百科大事典』の編輯、『日本大蔵経』や『真宗大系』等の編纂、正統群書類しゅうけい類「釈家部」の校訂、日本古典全集『曾我物語』『義経記』の校訂・解題、『江家次第』の校注に携わりました。また、大正8年(1919)には国語学者山田孝雄や実業家松山常次郎が私的に設立した国学研究所終身研究員となり、両者からさまざまな助力を得ていたようです。

これらの書物の編纂・校訂・校注業務の傍ら、明治38年(1905)に『平家物語』研究に着手、大正12年(1923)に『平家物語證注』(写真下)として稿を成しますが、あまりに詳細難解であったため刊行に至らず、その要約である『平家物語略解』がようやく昭和4年(1929)に刊行されました。以後『神皇正統記』『曾我物語』『保元物語』『平治物語』の研究著述に専念し、多くの関連論文を発表しながらそれぞれ一書に成稿しましたが、いずれも未刊。また、『太平記』については資料は揃えたものの具体的に研究には着手せぬまま、昭和25年(1950)74歳で生涯を閉じました。

名利に興味無く、俗事を遠ざけ学問生活を一徹に貫いた恵言に門弟を持つ機会は無く、その膨大な研究もほとんど公にされないままでした。が、没後三十年、国文学者太田善麿ら、恵言の学問姿勢に深い畏敬の念を持つ人々の尽力により『御橋恵言著作集』全5巻10冊(統群書類従完成会、1980～2001年)が刊行され、業績の全貌が明らかになりました。

恵言は、日本の古典文学は仏教思想の研究を抜きにしては理解できないと考え、神道・儒教・仏教等の日本の思想の諸流が融合した『平家物語』のような作品を詳細に究明すれば、それらが分派した後まで見通せると考えていました。従ってその研究の特徴は、本文の注釈、特に仏教語についての徹底した解明と、内外の典籍を援引しての出典考証にあります。生前唯一刊行された『平家物語略解』は、今日でも『平家物語』の研究史において「仏典・漢籍などの典拠や故実・人名・地名等の考証について、驚異的な博引旁証を誇る」「空前の

「詳注」として、「その後の注釈の基盤として生き続け、考証作業にあたっては、今なお常に本書に立ち戻らざるを得ない。注釈史上に屹立する存在である」（佐伯真一・軍記文学研究叢書7）と高く評価されています。

なお、惠言の生涯と業績については、鶴見大学講師の平藤幸氏より多くをご教示賜り、また資料をご提供いただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

■コレクションの特徴——国書を中心に

御橋コレクションは、はじめに述べたように多くが和装本という形態です。漢籍のなかには中華民国で出版されたものもありますし、国書（日本で著述された書物のこと）には明治時代の謄写本や活字本、『水干考』（写真下）など彩色の施された江戸時代後期の写本などもありますが、江戸時代の版本がその中心を占めています。



『水干考』

さて、本コレクションの蔵書の特徴のひとつに、その版本の保存状態や摺の状態の良いものが少なからず存することが挙げられます。これは、惠言が品物として書物を見る確かな目も持っていたことのあらわれでしょう。以下、国書中心に数点取り上げてみます。

たとえば、寛政の改革で有名な松平定信の随筆『花月双帯』（文政元年・1818 成立）（写真下）は、私家版の初版で



『花月双帯』

貴重である上、摺が大変きれいで保存状態もよい本です。また、江戸時代安永七年（1778）刊の海の魚介図鑑というべ



『海幸』

き『海幸』（写真上）は、やや虫損もあるものの、彩色摺で、当時の写生の正確さと印刷技術の高さが堪能できる本です。『おちくぼ物語』は二種の版本のうち上田秋成校訂の寛政十一年（1799）刊の、きれいな摺の本が蔵されています。

本コレクション所蔵の版本は、刊行された当時の表紙（原表紙）のままの本が多いのも特徴のひとつでしょう。手に取られて傷んだ表紙は付け替えられますので、刊行当時の表紙がそのまま残っている本は貴重なのです。『曾我物語』や『太平記』（写真下）、『渚の玉』（写真次頁上）などは、いずれも題簽まで残っており、特に歌集『渚の玉』の題簽は、一冊ごとに違う仮名や漢字を用いて題字を記し、上の模様もすべて異なるなど意匠を凝らしている様子が見て取れます。

また、収集された作品という観点から本コレクションを見てみると、国書では私たちが名前をよく知っている『古事記』『万葉集』『土佐日記』『伊勢物語』『落窪物語』『宇治拾遺物語』『徒然草』（なぜか『源氏物語』はありません）といったものから、『新撰字鏡』『和名類聚抄』などの古辞書、『古事記』、六国史、『令義解』、『大鏡』『栄花物語』『吾妻鑑』『日本外史』などの歴史叙述にかかわる書物、『古今集』以下の勅撰和歌



『太平記』



『渚の玉』

集や私撰集、歌学書などの歌書類、^{こけ}『江家次第』^{すえ}『職原抄』といった有職故実書、名所図会（写真表紙下左右）や旅行記、旅行用心集のたぐい、料理書、華道書（『立華正道集』（写真表紙上））等々、幅広く書物が集められていることがわかります。漢籍や神道・仏教関係の書物も加えれば、もっとそのジャンルは広がるでしょう。これは、^{いぎ}惠言の研究著述の姿勢と大いに関わっていると思われる。惠言の学問の中心は中世の軍記物語や史論の注釈が主でしたが、本文の出典考証や故実・人名・地名等の考証には、日本の古典文学はもとより、歴史、有職故実、芸術、仏典、仏教学、神道、儒教、漢籍など、ありとあらゆる分野に精通し、しかも広汎な知識が要求されます。惠言にとって、本コレクションはその知識の源だったのでしょう。

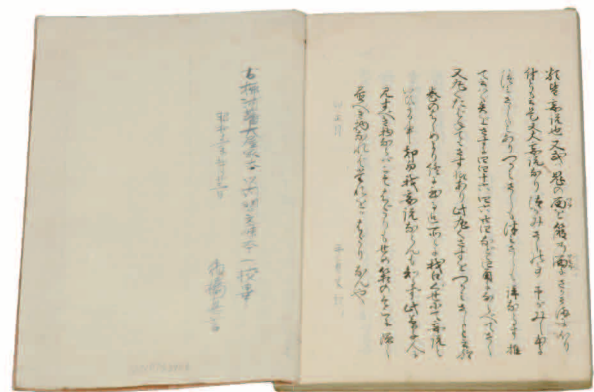
もちろん、^{いぎ}惠言の軍記物語研究に直接役立てられているものも少なくありません。軍記物の版本類は折にふれて参看されたでしょう。また、本コレクションのなかには、とりわけ有職故実類、なかでも装束、武具、馬具に関する書物の豊富

さが目につくのですが、たとえばそのなかの『烏帽子考』（写真右上）の後半部分に合綴される「見聞諸家紋 次第不同」には^{いぎ}惠言による青筆の書き入れがあったり、『平義器談』（写真右下）には^{いぎ}惠言自らが校合を加えていたり、蔵書の中には熱心に勉強した跡も見られます。本コレクションは、「驚異的な博引旁証を誇った学者の頭の中をのぞきこむようなおもしろさもあるものなのです。なお、本コレクションの全体像は、中央大学図書館編『御橋^{いぎ}惠言氏旧蔵書受贈目録』（中央大学図書館、2005年 中央書庫 M029.9/C66）で確認することができます。

また、今回はふれられませんが、^{いぎ}仏教関係の書物の中には『易行品聞書』など、^{いぎ}惠言の生家である鶴岡の広済寺第十六代住職で江戸時代後期の学僧である崇言の筆録、著作が六十点余りもあり、浄土真宗の教義に関する^{いぎ}恰好の資料群となっています。



『烏帽子考』



『平義器談』

中央大学図書館ではこの記事と連動して『第17回中央大学図書館企画展示：コレクション紹介：御橋コレクション』と題する催しを次の要領で開催いたしますので、この機会に是非ご覧下さい。

期間：2012年4月2日(月)～5月26日(土)

場所：中央図書館2階展示コーナー

Library Navigator

データベース紹介…経済・ビジネス情報の収集、就活に役立つ！

東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー

図書館ホームページ>データベース>経済・ビジネス・企業情報から利用できます。

東洋経済新報社発行の「週刊東洋経済」、「金融ビジネス」、「会社四季報」、「就職四季報」、「海外進出企業総覧」など計 18 誌を検索し、全文を閲覧できます。キャンパス内の学内 LAN に接続している PC から利用可能です。

1. キーワードから本文をさがす

(例) “自動車” に関する記事をさがしたい

- ① 「雑誌検索」をクリック
- ② 検索したい雑誌を選択
- ③ 検索窓に“自動車”と入力し検索をクリック
- ④ 検索結果の中から読みたい記事を選択



「週刊東洋経済」

2. 気になる会社の情報をさがす

(例) “日立製作所” の企業情報をさがしたい

- ① 「会社検索」をクリック
- ② 検索したい誌名を選択
- ③ 検索窓に“日立製作所”と入力し検索をクリック
- ④ 検索結果の中から読みたい記事を選択



「会社四季報」

3. さらに詳しい会社の情報をさがす

(例) カゴメが中国に出資した企業について調べたい

- ① 「媒体別検索」をクリックし、対象媒体の中から「海外進出企業総覧」を選ぶ
- ② 地域にアジア、中国を選ぶ
- ③ 日本側出資企業名に“カゴメ”と入力
- ④ 現地法人検索をクリックし、読みたい記事を選択

海外進出企業総覧詳細	
現地法人名	(日本語) 可果果(杭州)食品(有) (英語) Kagome(Hangzhou)Foods Co.,Ltd.
国名	(日本語) 中国 (英語) People's Republic of China
所在地	(日本語) 浙江省杭州市经济技术开发区4号大厦27号 (英語) No. 27 4th Ave., Hangzhou Economic & Technological Development Area, Hangzhou City, Zhejiang
電話番号	571-8691-8438
代表者名	鍾正心
業種名	飲料品
事業内容	冷凍加工温度帯の野菜飲料、野菜果実飲料の製造・販売
資本金	17100.00万円

「海外進出企業総覧」



トッパン小石川ビル

入場料: 一般 300 円、学生 200 円、中高生 100 円 小学生以下無料 団体割引あり
※企画展示期間中は入場料が変わります

開館時間: 10 時～ 18 時 (入場は 17 時 30 分まで)

休館日: 毎週月曜日 (ただし祝日の場合は翌日) 年末年始、展示替え期間

★印刷博物館ライブラリー

利用料: 無料

サービス: 閲覧可 (閉架式)、貸出不可、複写不可 (一部例外あり 10 円/枚) レファレンスサービスあり

住所: 〒 112-8531 東京都文京区水道 1 丁目 3 番 3 号
トッパン小石川ビル

TEL/FAX: 03-5840-2300 / 03-5840-1567

URL: <http://www.printing-museum.org/>

交通アクセス: 地下鉄「江戸川橋」駅より徒歩約 8 分、「飯田橋」駅より徒歩約 13 分。都営バス [上 69] 上野公園～春日駅前～小滝橋車庫 「大曲」、「東五軒町」下車徒歩約 2 分

印刷、と聞いて皆さんは何を思い浮かべますか? 私たちの周りには文字や図版が印刷されたもので溢れており、本や文房具だけでなく、商品ラベルや洋服、看板など媒体も紙だけにとどまりません。印刷の歴史は 1000 年以上にも及び、その間様々な道具や機械、手法が発明されてきました。そんな印刷をコミュニケーション・メディアと捉え、その歴史を見て聞いて体験して学べるのが、文京区にある印刷博物館です。

が博物館にあたり、1 階 エントランスフロアから続くエスカレーターを降りた地下 1 階が展示フロアとなっています。展示フロアに入っすぐの所には、プロローグ展示ゾーンとして 100 点以上の著名な史料のレプリカ (一部は本物) が、高さ 7m、長さ 40m にも及ぶ巨大な壁面に配されており、実際に触れながら印刷文化の歴史を古代から現代まで一望することができます。

印刷物の歴史を感覚的に捉えつつ進んだ先には、総合展示の大きなメイン・ホールがあります。ここでは、印刷の歴史



プロローグ展示ゾーン

を 5 つのブロックに分け、「社会」「技術」「表現」という 3 つの視点から人類と印刷の関係を紹介しています。有名な百万塔陀羅尼や徳川家康が作らせた「駿河版銅活字」(重要文化財) を始め、ゲーテンベルクの発明した活版印刷機や写



印刷博物館入口

印刷博物館は、2000 年 10 月に凸版印刷株式会社によって設立されました。トッパン小石川ビルの 1 階～地下 1 階



総合展示メイン・ホール

植機の模型、技術発展による様々な印刷物の展示、触って体験できる印刷技術紹介や、タッチパネルと映像による解説など、工夫を凝らした展示が続き見ごたえは充分。企画展示も開催されています。また、印刷工房「印刷の家」では、実際に活字を組んで伝統的な手仕事の活版印刷を体験できます(当日受付)。

1階のエントランスフロアには印刷博物館ライブラリーが併設されており、印刷関連の図書や雑誌を利用できます。カウンターには、専門知識を持ったスタッフが常駐しています。ライブラリーの資料はほとんどが閉架書庫に収蔵されていますが、館外からもアクセス可能なOPACで目次まで見ることができるよう整備されています。収集資料のうち、明治・大正の雑誌はデジタル公開に向けて準備が進められています。またインフォメーション・ミルという情報端末では、印刷の基礎知識や豆知識の紹介、これまでの展示会で流した映像をデジタルアーカイブ化し提供しています。他に業界新聞をバックナンバーを含めて保存したり、社史や団体の年史を収集するなど、国立国会図書館にも無いような専門的な資料



ライブラリー閲覧室

収集もなされており、印刷に関するレファレンスも依頼可能です。情報社会が急速に進展する中で、その原点となる印刷技術の起源や変遷に触れることで、改めて印刷文化の未来像を考える場として、訪ねてみてはいかがでしょうか？

新収資料紹介

①教職員著作目録 2011.9 - 2012.1 配架図書一覧 ()は所属学部等

著者名	書名	出版社	配架場所	請求記号
浅岡 夢二 (法)	著 フランス文学と神秘主義 (人間幸福学叢書)	人間幸福学研究会	中央書庫 / 開架	950.2/A88
浅岡 夢二 (法)	著 ボードレールと霊の世界 (人間幸福学叢書)	人間幸福学研究会	中央書庫 / 開架	951/B28/A88
阿部 泰隆 (総)	著 高裁判事のやり放題をなぜ放置するのか (学術選書プラス 8. 裁判論・最高裁上告不受理事件の諸相 2)	信山社	開架 / 総合政策	323.96/A12
新井 潤美 (法)	著 執事とメイドの裏表: イギリス文化における使用人のイメージ	白水社	開架	366.8/A62
W. プライアン・アーサー 日暮 雅通 有賀 裕二 (商)	[著] 訳 監修 テクノロジーとイノベーション: 進化 / 生成の理論	みずす書房	中央書庫 / 開架	331.81/A79
Klaus Mainzer 有賀 裕二 (商)	著 訳 複雑系から創造的偶然へ: カイロスの科学哲学史	共立出版	中央書庫 / 開架	401/Ma31
海岩 池澤 滋子 (商)	著 訳 玉観音	実業之日本社	中央書庫 / 開架	923/Ka21
石川 晃弘 (名) 張 家銘	主編 中歐政治與社會發展 (東吳大學社會學系中東歐教學研究中心叢書 1)	書林	社会学	312.3/176
石崎 忠司 (商)	著 エssenシャル経営分析	同文館出版	中央書庫 / 開架	336.83/184
植野 妙実子 (理)	編著 フランス憲法と統治構造 (日本比較法研究所研究叢書 82)	中央大学出版部	中央書庫 / 開架	323.35/U45
小津 雅加子 梅原 秀継 (商)	編著 IFRS 導入のコスト分析	中央経済社	中央書庫 / 開架	336.92/O99
箕輪 徳二, 三浦 后美 梅原 秀継 (商) ほか	編著 執筆 株式会社の財務・会計制度の新動向	泉文堂	中央書庫 / 開架	336.9/Mi47
ミシュレ 大野 一道 (経) ほか	[著] 監修 19 世紀: ナポレオンの世紀 (フランス史 6)	藤原書店	中央書庫 / 開架	235/Mi13
奥田 安弘 (法務) 長谷川 桃	著 外国人の法律相談チェックマニュアル 第 4 版	明石書店	中央書庫 / 開架	329.9/O54
長田 光展 (名)	著 悲しみが癒えるとき: 伴侶との死別から立ち直るために	新水社	中央書庫	146.8/O72
落合 誠一 (法務) 中東 正文 ほか	編著 著 会社法 visual materials	有斐閣	中央書庫 / 開架	325.2/O15
加美 和照 (名)	著 会社法 新訂第 10 版	勁草書房	中央書庫 / 開架	325.2/Ka37
岸 真清 (商) ほか	著 自助・共助・公助の経済政策	東海大学出版会	中央書庫 / 開架	332.106/Ki56
岸 真清 (商) 黒田 巖 (商) 御船 洋 (商) 井村 進哉 (経) 建部 正義 (商) 平澤 敦 (商) 宇野 典明 (商)	編著 執筆 高齢化社会における資産運用と金融システム (研究叢書 30)	中央大学出版部	中央書庫 / 開架	338.04/Ki56
河出書房新社編集部 木田 元 (名) ほか	編著 著 思想としての 3・11	河出書房新社	開架	104/Ka92
生松 敬三 木田 元 (名) ほか	編 西洋哲学小事典: 概念と歴史がわかる (ちくま学芸文庫 [ン 6-1])	筑摩書房	開架	130/I36
北村 敬子 (商) ほか 千代田 邦夫 鳥羽 至英 松本 祥尚 [ほか]	総編集 責任編集 執筆 会計監査と企業統治 (体系現代会計学 第 7 巻)	中央経済社	開架 田町会計	336.9/C49 336.9/Ta22
国本 伊代 (名)	編著 現代メキシコを知るための 60 章 (エリア・スタディーズ 91)	明石書店	中央書庫 / 開架	302.56/Ku45
ポール・W・ファリス ほか 小野 晃典 久保 知一 (商) ほか	著 訳 マーケティング・マトリクス: マーケティング成果の測定方法	ピアソン桐原	中央書庫 田町会計	675.2/F15

著者名	書名	出版社	配架場所	請求記号
久保 知一(商) 渡辺 達朗,原 頼利	編 流通チャンネル論:新制度派アプローチによる新展開	有斐閣	開架	675.2/W46
伊藤 滋 ほか 鯉淵 賢(商) 堀内 昭義(総)	編 執筆 東日本大震災復興への提言:持続可能な経済社会の構築	東京大学出版会	中央書庫 / 開架	304/I89
小林 道正(経)	著 知識ゼロからの微分積分入門	幻冬舎	中央書庫 / 開架	413.3/Ko12
坂田 聡(文)	著 家と村社会の成立:中近世移行期論の射程	高志書院	中央書庫 / 開架	361.4/Sa37
佐々木 信夫(経)	著 現代地方自治の課題	学陽書房	中央書庫 / 開架	318/Sa75
塩見 英治(経)	編 現代公益事業:ネットワーク産業の新展開(有斐閣ブックス [461])	有斐閣	中央書庫 / 開架	335.8/Sh74
執行 秀幸(法務) 福田 清明	著 事例で学ぶ債権総論	法学書院	中央書庫 / 開架	324.4/Sh29
平井 一雄 清水 元(法務)	編著 総則・物権(基本講座民法1)	信山社	中央書庫 / 開架	324/K17
ミシェル・ラゴン 高橋 治男(名)	著 訳 フランス・プロレタリア文学史:民衆表現の文学	水声社	中央書庫 / 開架	950.2/R12
高橋 雄介(理)	著 誰でも1km泳げる!がんばらないクロール(ソフトバンク新書165)	ソフトバンククリエイティブ	理開小型	785.2/Ta33
アーノルド・ウェスカー 竹中 昌宏(名)	作 訳 シャイロック	図書新聞	中央書庫 / 開架	932/W61
ポール・デ・グラウエ 田中 素香(経) 山口 昌樹	著 訳 通貨同盟の経済学:ユーロの理論と現状分析	勁草書房	中央書庫 / 開架	338.97/G78
田中 素香(経)ほか	著 現代ヨーロッパ経済第3版(有斐閣アルマ Specialized)	有斐閣	中央書庫 / 開架	332.3/Ta84
中央大学文学部ドイツ語 文学文化専攻	編 ドイツの言語・文学・文化:中央大学創立125周年記念 = Deutsche Sprache, Literatur und Kultur: Festschrift zum 125. Jubiläum der Chuo Universität	中央大学文学部ドイツ語文学文化専攻	中央書庫 / 開架	940.4/C66
土橋 臣吾,南田 勝也 辻 泉(文)	編著 デジタルメディアの社会学:問題を発見し、可能性を探る	北樹出版	中央書庫 / 開架	361.54/D81
平野 健一郎 土田 哲夫(経)ほか	編 インタビュー戦後日本の中国研究	平凡社	中央書庫 / 開架	302.22/H66
田村 泰俊 土田 伸也(法務)ほか	編著 執筆 最新・ハイブリッド行政法 改訂第2版	八千代出版	中央書庫 / 開架	323.9/Ta82
農山漁村文化協会 富岡 幸雄(名)ほか	編 執筆 復興の大義:被災者の尊厳を踏みしめる新自由主義的復興論批判(農文協ブックレット3)	農山漁村文化協会	開架	369.31/N97
中川 洋一郎(経)	著 ムギ・ヒツジ・奴隷(ヨーロッパ経済史1)	学文社	中央書庫 / 開架	332.3/Y84
新原 道信(文)	著 旅をして、出会い、ともに考える:大学で初めてフィールドワークをするひとのために(125ライブラリー004)	中央大学出版部	中央書庫 / 開架	361.9/N72
林 正樹(商)	編著 現代日本企業の競争力:日本の経営の行方	ミネルヴァ書房	中央書庫 / 開架	335.2/H48
原田 純孝(法務)	編著 地域農業の再生と農地制度:日本社会の礎 = むらと農地を守るために(シリーズ地域の再生9)	農山漁村文化協会	中央書庫 / 開架	611.23/H32
町田 篤彦 姫野 賢治(理)ほか	編 著 土木材料学	オーム社	中央書庫 / 理開	511.4/Ma16
深井 有(名)	著 気候変動とエネルギー問題:CO2温暖化論争を超えて(中公新書2120)	中央公論新社	開架新書 理開小型	中公新書/2120 451.8/F71
[孫文] 深町 英夫(経)	[著] 編訳 孫文革命文集(岩波文庫 青(33)230-3)	岩波書店	中央小型 開架文庫	311.222/So41 岩波文庫/青-230-3
藤澤 克樹(理) 後藤 順哉(理)ほか	著 Excelで学ぶOR	オーム社	開架 / 理開	336.1/F66
藤本 哲也(名)	著 よくわかる刑事政策(やわらかアカデミズム・「わかる」シリーズ)	ミネルヴァ書房	中央書庫 / 開架	326.3/F62
古城 利明(名)	著 「帝国」と自治:リージョンの政治とローカルの政治(中央大学学術図書78)	中央大学出版部	中央書庫 / 理開	319/F93
堀田 隆一(文)	著 英語史で解きほぐす英語の誤解:納得して英語を学ぶために(125ライブラリー005)	中央大学出版部	中央書庫 / 開架	830.2/H96
前野 光弘(名)ほか	著 知っておきたいドイツ文学	明治書院	中央書庫 / 開架	940/Ma27
松原 芳博 曲田 統(法)ほか	編 執筆 刑法の判例 総論・各論	成文堂	中央書庫 / 開架	326.098/Ma73
升田 純(法務)	著 一般法人・公益法人の役員ハンドブック:役員の責任と責任追及の対応策	民法法研究会	中央書庫 / 開架	324.12/Ma66
升田 純(法務)	編著 平成時代における借地・借家の判例と実務:平成の借地・借家判例の総覧	大成出版社	中央書庫 / 開架	324.81/Ma66
松尾 正人(文)	著 徳川慶喜:最後の将軍と明治維新(日本史リブレット人069)	山川出版社	中央書庫 / 開架	289/To36/Ma85
ハロルド・J・パーマン 宮島 直機(法)	著 訳 欧米の法制度とキリスト教の教義(日本比較法研究所翻訳叢書60.法と革命1)	中央大学出版部	中央書庫 / 開架	322.3/B38
森信 茂樹(法務) 小林 洋子	著 どうなる?どうする!共通番号	日本経済新聞出版社	中央書庫 / 開架	324.87/Mo59
日本移民学会 森茂 岳雄(文)ほか	編 執筆 移民研究と多文化共生:日本移民学会創設20周年記念論文集	御茶の水書房	中央書庫	334.4/N77
棚村 政行,小川 富之 山内 惟介(法)ほか	編集代表 執筆 家族法の理論と実務:中川淳先生傘寿記念論集	日本加除出版	中央書庫 市ヶ谷法務	324.6/Ta85
山口 真美(文)ほか	編著 発達(心理学研究法4)	誠信書房	中央書庫 / 開架	140.7/Sh69

* (法): 法学部、(経): 経済学部、(商): 商学部、(文): 文学部、(総): 総合政策学部、(理): 理工学部、(法務): 法務研究科、(戦略): 戦略経営研究科、(名): 名誉教授
* 配架場所は2ヶ所までとした



貴重書・準貴重書の利用について

貴重書、準貴重書の閲覧は館長の許可を要するため、事前の手続が必要です。
詳しくは中央図書館2階カウンターにお問い合わせください。
なお、大学院生は指導教員の推薦状が、学部学生は指導教員の同伴が必要となります。